

# K I M A I

医学生と香川民医連をつなぐ情報誌

【今号の記事】2015年度中四国医系学生のつどいin  
広島 開催報告/豊島医療フィールドワーク開催/研修医  
日記(塚本真由医師)

2015  
Autumn  
For free

## 2015年度中四国地協医系学生のつどいin広島 開催報告

2015年度の中四つどいは6月20日～21日、広島大学で開催されました。テーマは「地域を守る救急医療」。参加者は75名(内医学生33名)でした。

### 1日目

1日目の講師は本田宏医師(前埼玉県済生会栗橋病院院長補佐)が「医療崩壊と戦争法案の切っても切れない関係」という演題で、先生自身の生い立ちなども交えながら、非常にわかりやすく医師不足の日本の状況やそれを改善するための活動、医学生へのメッセージをご講演くださいました。



1日目講師  
本田宏医師

本田先生の講演を聞いて、小さいグ



本田宏医師講演のようす

ループに分かれてディスカッションしました。まずは「救急医療」に対して講演を聞く前に持っていたイメージと聞いた後でどう変化したかを出し合いました。講演前のイメージは、「忙しそう、たらいまわし、安心感がある」など病院内でおこっている漠然としたイメージでしたが、講演を聞いて「制度や政策がからんでいて、はっきりとした問題点が見えてきた」「情報を正しく伝えることが大事、情報をうのみにせず世界と比較したデータなどから判断することが重要だと感じた」などの感想が出されていました。

夜の交流会では、班対抗のクイズ大会や県対抗の仮装大会で盛り上がりました。香川はうどん脳の扮装でなつかしの「うどんロック」を踊り、見事3位に輝きました。

(2面につづく)

### ※中四国地協医系学生のつどいって?

⇒中四国各県の民医連が主催する、医系学生が講演をきいたりワークショップなどを通して学習・交流する学習企画です。年1回の開催に向けて、学習内容などは実行委員会を定期的にかけて医系学生が相談して自ら決めています。



うどん脳のお面は手作りです

## 2日目

2日目の講演会は宮城県にある坂総合病院の救急科医長の佐々木隆徳医師で演題は「田舎の救急医からみた震災後の救急医療」。坂総合病院は東日本大震災の時、どういう状況だったのか、何を備えていて、何が備えられていなかったのかなど具体的に語られました。家族を亡くした職員や家を失った職員が多数いる中で、次々に運ばれてくる急患の対応に追われたそうです。震災の翌日には病院に薬を求めて長蛇の列ができたとのこと。アンケートでは災害訓練をやってはいたけれど、マニュアル通りに行動できたという人は62%だったそうです。

「災害医療は地域医療の延長線上にある」「救急医療、災害医療、地域医療に基本原則はあっても唯一の正解はない。その時々にあった判断を行い、やったことをフィードバックしながら、考え続けることが大切」と話されました。

参加した学生さんたちも熱心に討論し、有意義な2日間となりました。



2日目講師  
佐々木隆徳医師

### 【参加した学生の感想】

2日間を通して、情報を収集すること、学びの姿勢、備えることを学びました。自分が今受け身で手に入れている情報は正しいのか、それらを疑う目を養うことが大切であり、必要な情報は自分で動いて集める必要があると感じました。そして何よりも現場・現状をみて当事者の話を聞くことは一番正確で説得力があるものだと思います。  
(香川大学医学生)

## 2015中四国地協 医系学生 のつどい総括会議報告

8月29日に愛媛生協病院において学生10名、職員12名が集まり、総括会議を行いました。

まずは本番の振り返りを行い、2つの講演は、低学年の学生が多い中でわかりやすい講演だったと、内容についてはよかったという意見が出されました。運営上の事ではチューター（各班の司会者）のマニュアル作成やチューター講座があった方がいいという改善点も出されました。次に各県での本番後の取り組みを交流しました。

最後に次年度に向けて、やりたいこと、テーマ等出し合いました。戦後70年を意識したこと、コミュニケーション能力や患者さんとの信頼関係に関すること、病気ではなく人を診る、代替医療（カラーセラピー・アニマルセラピー）等活発に意見が出されました。次回の第1回実行委員会までに各県で検討してくるようになりました。

愛媛生協病院の研修医の水本真奈美Drの研修報告や、愛媛生協病院の見学もしました。終了後は交流会をし、自身の濃い総括会議となりました。

### 2016年度中四つどい始動！

11月22日（日）に鳥取にて第1回実行委員会が開催されます。中四国の医療系学生が集まって、学習・交流し、2016年度の中四つどいのテーマや日程など相談します。ぜひご参加ください。

## 香川の離島医療学習 Vol.2—豊島医療フィールドワーク

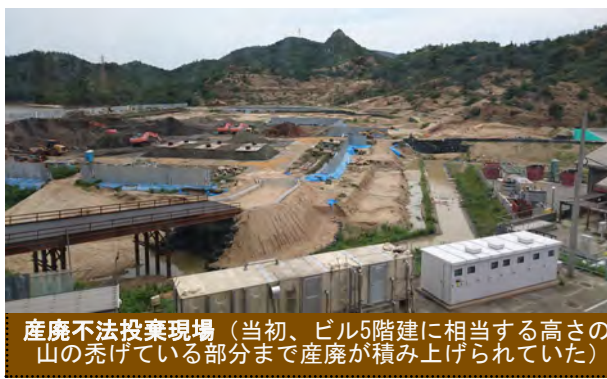
香川民医連では、2015年医療系学生  
通年学習企画として離島医療フィールド  
ワークを開催しています。その第二弾の舞  
台は「豊島」です。前回の直島フィールド  
ワークで学習した、豊島産廃問題が起  
こった島です。7月18日に医療系学生5  
人で学習をしてきました。

豊島は高松港からフェリーで約35分  
で行ける島です。豊島産廃問題の概要  
は、1970年代から13年間にわたって悪  
質な事業者によって約50万トンにも及  
ぶ産業廃棄物が豊島に持ち運ばれた事  
件です。残された産廃の処理がいまだ  
に続けられている現状です。約8割は  
撤去できており、あと約2年で撤去完

了予定です。しかし今後、延長する可  
能性もあります。

豊島の医療については、島民約1,000  
人で過疎高齢化が進んでいる中でも診  
療所が1つあります。その診療所で働  
いている看護師さんに、日頃どのよう  
な気持ちで仕事に臨んでいるのかなど  
お話をきかせていただきました。診察  
の場では患者さんを、まず同じ“島  
民”の一人として見て、その人の生活  
背景まで最大限に考慮して治療にあ  
たっていると強く感じました。

第三弾は10月に大島へ行く予定で  
す。



産廃不法投棄現場（当初、ビル5階建に相当する高さの山の禿げている部分まで産廃が積み上げられていた）

### 2015.7.18 豊島FWタイムスケジュール

10時～13時	豊島産廃問題FW
14時～17時	豊島観光（豊島美術館等）
18時～19時	豊島で働く看護師さんからお話を聞く ⇒解散

## 徳田安春医師講演会「臨床推論講座」—民医連中四国地協主催—

日時 2016年1月9日(土)13:30～17:00

会場 岡山大学 鹿田キャンパス  
マスカットキューブ3F

参加費 無料

申込み・お問い合わせ先

香川民主医療機関連合会  
学生担当 小池・森・中田

電話 090-7579-4259

メール heiwahp@gmail.com



NHK「総合診療医ドクターG」で  
おなじみの徳田安春医師が講演！



地域医療機能推進機構  
本部センター長  
徳田安春医師

【予定】

- ・徳田安春医師講演「タイトル未定」
- ・臨床推論講座（グループ別に）
- ・研修医による研修報告
- ・夕食懇親会

※会場までの移動は、香川の学生  
で集合して行く予定です。



# 研修医日記

## ★第35回★

こんにちは！高松平和病院初期研修1年目の塚本真由です。初期研修が始まり6ヶ月が経過しました。前回（入職1ヶ月目ぐらい）ブラインドタッチが全く出来ない、と書いたのですが、まあ相変わらず出来ないんですが（笑）キーボードを打つ速度はなんとかだんだんと速くなってきた気がします。半年間の内科研修が終了し、就職して初めての夏休みをいただき、10月からは整形外科研修がスタートしました。また内科とは違う時間の流れにわたわたしながら研修している、今日この頃です。

### 【あいこちゃん】

ここ高松平和病院は栗林公園という高松のザ・観光地の目の前にあります。栗林公園は春の桜に始まり、5月には藤やアヤメ、夏は朝方の蓮、秋は紅葉・・・等々、季節毎に素敵な景色が広がります。私はここがとっても好きで、学生の頃から年間パスを買ってこの公園に来ていました。向きによるのですが、平和病院の窓からは栗林公園がよく見えます。そのため病棟で仕事をしていると無性～に行きたくなるのです。天気の良い日などは、お弁当を持って公園で食べたいな～と日々思っています。で、実際はどうしているかというと、お昼ご飯を平和病院6階の洗濯物干し場で食べています。そこから栗林公園を上から眺めながらご飯を食べることが出来るのです。もちろん洗濯物は大量に干されているし、外なので多少埃っぽいですが、高いところの気持ち良い風と洗濯したての良い香りと、栗林公園のふさふさした緑が目にも優しく、お昼休憩にとってもリラックスできるのです。

病院には清掃員とって病院のお掃除をして下さ



高松平和病院  
一年目研修医  
塚本真由  
(香川大卒、  
滋賀県出身)

る職種があり、その洗濯物は清掃員の方々が干して下さっています。お昼を食べている最中よく世間話をするのですが、その中でもTさんという方は一番良くお話してくださり「良い天気ですね～」とか、「先生疲れてないん？パナナ食べて下さい～」とかとか、色々気にかけていただいています。そんなTさんはその干し場で植物を育てていたりもします。春過ぎには「綺麗なナデシコが咲いたよ～」と見せてくれました。夏が近づくとミニトマトを育てて見せてくれました。「先生、ミニトマト育ててるんよ～。これ、この真ん中の子はあいこちゃんっていうの。かわいいでしょ～」と。「あいこちゃん、おいしく育ててね～」・・・誰？名前つけて育てると美味しく育つ的な・・・？てかなんでその真ん中の苗だけ？何か特別な思い入れが？うーん、まいっか。そんな感じで私のお昼はゆるゆると過ぎていきます。

真夏は少し暑すぎるため医局でご飯し、良い季節となった秋口にまたご飯に通うようになりました。「先生～トマト、おいしく食べてしまったわ～！残念！」あ～、あいこちゃんおいしく食べられてしまったのか。「先生はトマト何の種類が好き？あの、あいこって品種は本当美味しいのよ～」・・・ん？あいこちゃん・・・名前じゃなかったのか。「来年は食べて下さいね～」はい、是非とも食べてみたいです。この前清掃員さんの休憩所横を通ると、また新しい何かの苗が二つ置いてありました。次は何が育つのか今から楽しみにしています。

気付けば研修の話は何もしていないのですが、病院ではいろんな人が働いているよというお話でした。



発行：香川民主医療機関連合会

お問い合わせは下記まで

●香川民主医療機関連合会

(担当：小池・森・中田)

〒760-0073 高松市栗林町1-6-4

TEL:087-836-9375

FAX:087-836-9376

●みき事務所

〒761-0701

木田郡三木町池戸1538-1森ハイツ1F

TEL&FAX:087-891-0521

問い合わせは [heiwahp@gmail.com](mailto:heiwahp@gmail.com) まで



●「医学生のページ」を開設しています

<http://t-heiwa.com/igakusei>

香川民医連 医学生のページ

検索

●Facebookも更新中です

香川民医連 医学生担当

検索

●ご意見・ご感想は同封のハガキでお寄せください

●香川民医連は、個人情報保護法に基づき、情報を管理運用しています

委員会制度・学習企画  
の紹介などしてます！